

# Oracle® DIVAnet

## リリースノート

リリース 2.2

E85460-01

2017 年 1 月

---

- [新機能](#)
- [要件](#)
- [DIVAnet 2.2 で拡張された機能](#)
  - [新しいアセット検索パラメータ](#)
  - [新しい DIVArchive API コマンド](#)
  - [追加されたその他の機能および拡張](#)
- [DIVAnet のインストールと構成](#)
- [ドキュメントのアクセシビリティについて](#)

## 新機能

DIVAnet 2.2 は、リリース 2.1 で導入された新しいアーキテクチャーと機能に基づいて構築されています。DIVAnet 2.2 には、バグの修正および UI 拡張機能が追加されています。レガシーの DIVAnet (リリース 1.0、DIVArchive インストーラで *Access Gateway* と呼ばれていた) も使用できます。DIVAnet 2.x はレガシーの DIVAnet 1.0 とは異なる方法で構成されているため、当座の代替品ではありません。

DIVAnet 2.2 は DIVArchive 7.3.1 以降で動作します。DIVAnet 2.1 の UI は DIVAnet 2.2 サービスとは互換性がありません。ただし、DIVAnet 2.2 は DIVAnet 2.1 ManagerAdapter で動作します。すべてのコンポーネントを最新のリリースにアップグレードすることをお勧めします。

## 要件

DIVAnet 2.2 では、すべてのサイトで DIVArchive 7.3.1 (最小) が必要になり、Windows および Oracle Linux オペレーティングシステムでサポートされています。

## DIVAnet 2.2 で拡張された機能

DIVAnet 2.2 に含まれる拡張された機能は次のとおりです。

## 新しいアセット検索パラメータ

### 見逃した削除

削除がスケジュールされていたのに実行されなかった(たとえば、サイトがオフラインだったなど)アセットをクエリーして表示できるようになりました。DIVAnet の UI を使用して適切なサイトを削除できます。

### チェックサムエラー

DIVAnet の UI を使用して、DIVArchive リクエストでチェックサム検証エラーが発生したアセットをクエリーして表示できるようになりました。

## 新しい DIVArchive API コマンド

DIVAnet 2.2 では、`getObjectByFilename()` および `deleteFile()` の API 呼び出しをサポートするようになりました。DIVArchive AMC 製品では、`getObjectsByFilename()` および `deleteFile()` API 呼び出しを使用して、Avid AMC で DIVAnet を介してコンテンツを保存および取得できます。このリリースでサポートされているワークフローは、必要な DIVArchive AMC オブジェクトがすべてローカルサイトに存在しているものに限定されます。コンテンツの複製を残し、ほかのサイトから復元できます。DIVAnet ではローカルサイトでのシーケンスを使用した基本操作をサポートしていますが、シーケンスが削除されたファイル情報はほかのサイトと同期されません。

DIVAnet 2.2 にアップグレードして、DIVArchive AMC を DIVAnet で使用することを計画している場合、ClientAdapter のワークフロープロファイルに `DeleteFile` を付加操作として追加する必要があります。

## 追加されたその他の機能および拡張

- DIVArchive 7.5 Cloud メディアの表示および優先順位付けのサポート
- DIVArchive 7.5 ローカル削除アプリケーションのデータベースサポート
- さまざまな UI のマイナー更新

## DIVAnet のインストールと構成

Windows または Linux に DIVAnet 2.2 をインストールするには、Oracle DIVAnet 2.2 ドキュメントライブラリの『Oracle DIVAnet インストール、構成、および操作ガイド』を参照してください。

DIVAnet をリリース 2.2 にアップグレードする手順は、「DIVAnet のアップグレード」のセクションを参照してください。更新されたデータベースアップグレード手順には特に注意してください。

## ドキュメントのアクセシビリティについて

オラクルのアクセシビリティについての詳細情報は、Oracle Accessibility Program の Web サイト (<http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=acc&id=docacc>) を参照してください。

### **Oracle Support へのアクセス**

サポートをご契約のお客様には、My Oracle Support を通して電子支援サービスを提供しています。詳細情報は (<http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=acc&id=info>) か、聴覚に障害のあるお客様は (<http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=acc&id=trs>) を参照してください。

---

Copyright © 2017, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

このソフトウェアおよび関連ドキュメントの使用と開示は、ライセンス契約の制約条件に従うものとし、知的財産に関する法律により保護されています。ライセンス契約で明示的に許諾されている場合もしくは法律によって認められている場合を除き、形式、手段に関係なく、いかなる部分も使用、複写、複製、翻訳、放送、修正、ライセンス供与、送信、配布、発表、実行、公開または表示することはできません。このソフトウェアのリバース・エンジニアリング、逆アSEMBル、逆コンパイルは互換性のために法律によって規定されている場合を除き、禁止されています。

ここに記載された情報は予告なしに変更される場合があります。また、誤りが無いことの保証はいたしかねます。誤りを見つけた場合は、オラクルまでご連絡ください。

このソフトウェアまたは関連ドキュメントを、米国政府機関もしくは米国政府機関に代わってこのソフトウェアまたは関連ドキュメントをライセンスされた者に提供する場合は、次の通知が適用されます。

U.S. GOVERNMENT END USERS: Oracle programs, including any operating system, integrated software, any programs installed on the hardware, and/or documentation, delivered to U.S. Government end users are "commercial computer software" pursuant to the applicable Federal Acquisition Regulation and agency-specific supplemental regulations. As such, use, duplication, disclosure, modification, and adaptation of the programs, including any operating system, integrated software, any programs installed on the hardware, and/or documentation, shall be subject to license terms and license restrictions applicable to the programs. No other rights are granted to the U.S. Government.

このソフトウェアまたはハードウェアは様々な情報管理アプリケーションでの一般的な使用のために開発されたものです。このソフトウェアまたはハードウェアは、危険が伴うアプリケーション (人的傷害を発生させる可能性があるアプリケーションを含む) への用途を目的として開発されていません。このソフトウェアまたはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用する場合、安全に使用するために、適切な安全装置、バックアップ、冗長性 (redundancy)、その他の対策を講じることは使用者の責任となります。このソフトウェアまたはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用したこと起因して損害が発生しても、Oracle Corporation およびその関連会社は一切の責任を負いかねます。

Oracle および Java はオラクルおよびその関連会社の登録商標です。その他の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

Intel、Intel Xeon は、Intel Corporation の商標または登録商標です。すべての SPARC の商標はライセンスをもとに使用し、SPARC International, Inc. の商標または登録商標です。AMD、Opteron、AMD ロゴ、AMD Opteron ロゴは、Advanced Micro Devices, Inc. の商標または登録商標です。UNIX は、The Open Group の登録商標です。

このソフトウェアまたはハードウェア、そしてドキュメントは、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセス、あるいはそれらに関する情報を提供することがあります。適用されるお客様と Oracle Corporation との間の契約に別段の定めがある場合を除いて、Oracle Corporation およびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスに関して一切の責任を負わず、いかなる保証もいたしません。適用されるお客様と Oracle Corporation との間の契約に定めがある場合を除いて、Oracle Corporation およびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセスまたは使用によって損失、費用、あるいは損害が発生しても一切の責任を負いかねます。